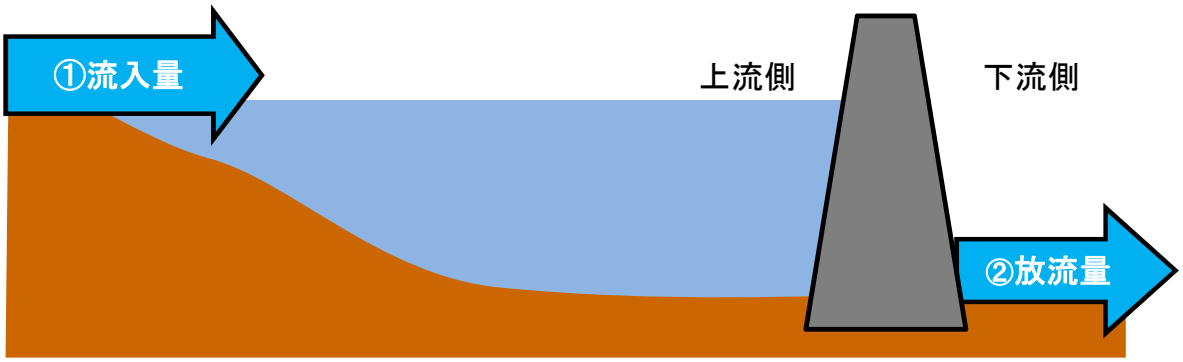
台風19号による下久保ダムの稼働状況について

下久保ダムに流入する神流川の洪水の一部をダムに貯留して、ダム下流の神流川の水位を低下させています。

２０１９年１０月１２日　２２時３０分現在　　速報値

１．下久保ダムの洪水操作状況

①下久保ダムへの流入量	毎秒	１，６１６	立方メートル
②下久保ダムからの放流量	毎秒	７９５	立方メートル
③下久保ダムの貯留量（１秒当たり）	毎秒	８２１	立方メートル



③下久保ダムの貯留量　＝　①下久保ダムへの流入量　－　②下久保ダムからの放流量

図１　下久保ダムの状況

２．下久保ダムにより想定されるダム下流水位の低減

下久保ダムで貯留することにより、ダム下流の八塩橋付近の現在水位は、ダムが無いと仮定した場合の水位と比較して、１．５６ｍ水位が低下していると想定されます。

※「ダムが無いと仮定した場合の水位」は、当該時刻のダム地点の貯留量をダム下流の神流川八塩橋地点の水位低減量に換算しています。

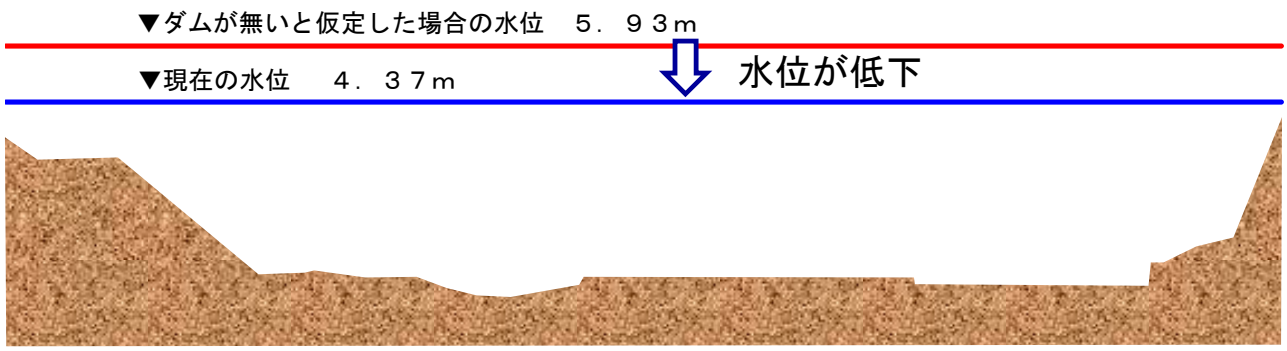


図２　下久保ダムにより想定される水位の低減（八塩橋付近）

※図１、図２はダム等の状況を説明するため模式的に表現したものであり、実際の状況とは異なります。また、速報版であるため数値には修正の可能性があります。